

■ 日本補綴歯科学会雑誌

■ 43巻4号（通巻182号）（平成11年8月10日）

〈依頼：テーマ・感染症予防に向けてのデンチャープラーク・コントロール〉

テーマ・感染症予防に向けてのデンチャープラーク・コントロール	1—635
天野 秀雄	
高齢者の健康を脅かすデンチャープラークと口腔細菌	2—636
奥田 克爾	
感染症予防のためのデンチャープラークコントロール：Candida spp.とHelicobacter pyloriを中心として	6—640
市川 哲雄, 弘田 克彦	
形成過程からみたデンチャープラーク, 義歯の歯石様沈着物とその除去法	15—649
細井 紀雄, 石川千恵子	
高齢者における義歯の清掃および管理の実態からみた感染予防に向けての課題	25—659
野首 孝祠, 池邊 一典, 三田 和弘	

〈症 例〉

前方整位型スプリントの長期使用により生じた臼歯部離開への対応	32—666
森岡 範之, 古川 良俊, 塩山 司	

〈原 著〉

ひずみゲージを応用したブラキシズム検出装置の開発	40—674
笛木 賢治, 馬場 一美, 秋重 智司, 羽毛田 匡, ガードサブシー ウォラワ ン, 藍 稔	
内側翼突筋に関する筋電図学的検討 第2報 咬合支持部位の相違が閉口筋に及ぼす影響	47—681
岡部 良博, 藍 稔, 屋嘉 智彦, 西山 暁, 佐藤 雅之	
咬みしめ時の下顎の変位と非咬みしめ側の咬合接触面積との関係	55—689
秋重 智司, 谷田部 優, 馬場 一美, 屋嘉 智彦, 上野 剛史, 藍 稔	
欠損歯列を有する患者に対するQOL評価質問票の信頼性・妥当性の検討	64—698
岡本壯一郎, 鈴木 秀典, 完山 学, 荒川 光, 園山 亘, 窪木 拓男, 山下 敦	
無歯顎患者における下顎体高と咬合床の高さとの関連について	72—706
土田富士夫, 細井 紀雄, 小林 馨	
射出成形法によるマイクロ波重合型レジンで作製した下顎総義歯の重合に伴う寸法変化	77—711
王 曉容, 小柳 進祐, 高橋 裕, 羽生 哲也	
歯科鑄造用金属の変色および付着物に関する臨床的研究	85—719
高山 慈子, 川井 善之, 滝新 典生, 細井 紀雄, 水野 行博	
低温焼成陶材システムの特性について 第2報 低温焼成陶材の色彩学的検討	98—732

竹内 康人, 阿部 俊之, 山内 貴司, 伊藤 裕	
オールセラミッククラウンの色調に関する研究—支台歯, 表面粗さおよび仮着操作の影響—	105—739
今 悟	
IPS-Empressの圧縮強度に関する検討—歯頸側辺縁ショルダー角度の影響—	116—750
鈴木 和彦, 照井 崇之, 永井 成美, 塩山 司, 石橋 寛二	
〈認定医ケースプレゼンテーション抄録〉	
歯周リスクファクター回避のための可撤性ブリッジ症例の経過観察	121—755
加藤 一誠	
不正咬合が巨大なエプーリスの誘因となった1症例に対する総合治療における補綴学の役割	123—757
野村 章子	
術者可撤方式の固定性補綴装置の術後経過について	125—759
佐々木真澄	
エプーリスが広範にみられた症例	127—761
小林 和弘	
磁性アタッチメントを使用した全部床義歯による口蓋欠損補綴症例	129—763
永尾 寛	
平成10年度日本補綴歯科学会各種委員会活動報告書	131—765
会 則	143—777
投稿規定	145—779
編集後記	146—780

[ページを閉じる](#)

Copyright 2006 Japan Prosthodontic Society. All Rights Reserved.